

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営理念について、社内掲示ならびにHP掲載により、いつでも意識できる環境をつくっている。 ・期初に年度の事業計画や方針、目標を社員に説明することで会社のあるべき姿を共有している。								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確實に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守について就業規則に掲載している。 ・年に1回社員向けに研修を実施し、啓発を行っている。																	16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・公正な取引について就業規則に掲載している。 ・年1回社員向けに研修を実施し、啓発を行っている。										10							16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・担当者として事務長を任命している。 ・定期的に幹部会議を開催して、トラブルや苦情などがあれば報告させ、対応している。																	16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・HPの更新、パンフ・チラシのデザイン作成時には著作権を害することが無いようにチェックしている。								8.2 8.3	9									16
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・マイナンバーに関しては取り扱う社員を限定し、情報へのアクセス権を設定している。 ・「運営する施設・事業所は、適切な個人情報保護に取り組んでいます」とHPに掲載し、対外的な取組み姿勢を示している。																	16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・お客様(取引先、利用者様)の声(苦情、相談)を真摯に受け止め、カンファレンスを行い、共有し、改善に取り組んでいる。																16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスマント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5			8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・BCP(事業継続計画)を策定している。 ・毎年定期的に避難および災害の訓練を実施している。								9		11		13.1					16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●									8	9										17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別・年齢・障がい・国籍・出自などによる差別や各種ハラスマントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・就業規則には、差別や各種ハラスマントの禁止について定めている。 ・差別やハラスマントに関する研修を実施し、相談窓口を設置している。 ・雇用条件及び職場環境において、雇用、教育、昇進・登用、福利厚生など、差別しないよう取り組んでいる。			4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・ヒヤリハット報告書を活用し事故の未然防止に努めている。 ・定期的に事故委員会を開催し情報の共有と再発防止に努めている。		3					8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・法律に則り、従業員(社員・パート社員)の公正な待遇を行っている。 ・介護職員など待遇改善加算及び特定待遇改善加算を算定し、介護従事者などの待遇改善を推進している。 ・非正規職員から正規職員への転換を行っている。				5.5			8.5		10.2 10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためにワークライフバランスを推進している。	●		・残業時間の管理徹底や有給休暇の取得奨励により、健康増進、家事や育児の時間捻出への環境を整えている。 ・ICT活用(ケア内容や申し送り事項の共有)による介護職員の事務負担軽減に取り組んでいる。		3		5.5			8.5 8.8		10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援などの研修費を補助し、就業時間内での学習を推奨している。		4	5.5			8	9											
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・健康診断は経費補助があり、毎年受診するよう管理している。 ・介護職員の腰痛対策を含む負担軽減のための介護ロボットや、リフトなどの介護機器などを導入している。		3				8											17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格において、年齢、性別などの違いによる差別的待遇はしていない。結果離職率も低下している。			4.4 5.5	5.1 5.5			8.5 10.2 10.3										16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェーブ会議等を導入している。	●		・新型感染症対策と働き方改革を兼ねて、フレックスや在宅勤務(テレワークなど)を導入している。 ・外出先から社内ネットワークに接続できるようにしている。		3					8 9.1		11 12									
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・Office365やクラウドを採用することで、どこからでも必要な情報にアクセスできる環境を構築している。業務の効率化、管理職と部下とのマネジメントにも活用している。 ・文書の電子化によるペーパーレスな環境づくりを進めている。 ・ICT活用(ケア内容や申し送り事項の共有)による介護職員の事務負担軽減をはかっている。						8 9.1		11 12										
	21	【プライム企業】 ・プライム企業に認定されている。	●				3	4				8 9		12									

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・事業所から排出される廃棄物は免許を持った業者と契約し、適切に処理している。			3.9			6.3						11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・EXCELシートにより自社のエネルギー使用量を把握している。 ・省電力型エアコン、LED照明を導入により施設の節電に取り組んでいる。							7.3						13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・環境省の「簡易計算シート」により自社の温室効果ガスの排出量を把握している。 ・社用車を1台ハイブリッド車にし、省電力型エアコン、LED照明導入によりCO2排出の削減に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業で排出されたゴミは分別し、適切に処理を行っている。 ・事業所の道路沿いの緑化、畑づくりなど緑を増やす活動に取り組んでいる。						6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・複合機はリユース機を使用している。 ・使用済みのトナーやドラム、カートリッジは回収し、リサイクルのために購入業者に返却している。								9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・事業所では「節水」のために、手をかざす蛇口を設置し無駄遣いをできないようにしている。		2.4					6.1 6.3 6.4 6.6 6.8				11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・事務用消耗品のコピー用紙や文具などはグリーン購入商品を優先している。 ・購入においては、無駄が出ないよう必要量を購入し、使用後にリサイクルできる包装材に配慮したりしている。								9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・農家さんから販売できない野菜を提供してもらい、食材として利用している。	1	2				6.4						12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・施設の敷地内の植栽に取り組んでいる。 ・道路沿いに花壇を設置し、地域の緑化活動に参加している。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中に分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●															12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●											9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2	

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・定期的に社内カンファレンスを実施し、サービスの内容を見直している。 ・介護福祉士の在籍率の向上に取り組んでいる。			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・施設においては、利用者様に分かりやすい表示、多機能トイレ、スロープ、手すりを設置している。									9.1	10	11.7						17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●		・施設で使う食材の調達において、可能な限り県産(県内で製造)のものを優先的に利用している。	2.3 2.4						7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●								7						12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。	●	●		2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・八代南倫理法人会、消防団に属している。 ・地域のお祭りの運営に携わり、景品の提供をしている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・施設には、防災備蓄や防災グッズを常備している。 ・ハザードマップを踏まえた、災害に対応する保険に加入している。 ・毎年定期的に避難および災害の訓練を実施している。				4							11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●		・災害時に建屋・駐車場を避難所として開放している。 ・AED(自動体外式除細動器)を設置し、開放している。 ・地域の消防団に加入している。(社員2名)	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●											9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●		・八代農業高校のインターンシップを、積極的に受け入れ、仕事の理解につなげている。				4				8.6		10.2							17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●						4.4					8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●	●		2			4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15		17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。